

## 2024年度「アルミニウム圧延品」需要見通し

一般社団法人 日本アルミニウム協会

(単位: トン)

	2022年度		2023年度		2024年度	
	実績		見込み		見通し	
	トン	前年度比(%)	トン	前年度比(%)	トン	前年度比(%)
板類	1,107,562	▲ 5.7	1,043,720	▲ 5.8	1,071,170	+2.6
押出類	680,256	▲ 5.8	656,714	▲ 3.5	655,380	▲ 0.2
板押計	1,787,818	▲ 5.8	1,700,434	▲ 4.9	1,726,550	+1.5
箔	105,409	▲ 16.0	96,458	▲ 8.5	98,700	+2.3

## ① 概況

## ●2023年度需要見込み

板押合計で、1,700千トン、前年度比▲4.9%。(2年連続でマイナス)

うち、板類は、1,043千トン、前年度比▲5.8%。(2年連続でマイナス)

「缶材」は物価上昇や酒税法改正などの影響により減少、「自動車」は自動車生産の回復に加え、車体用アルミパネルの採用が増加したことなどから大幅増となった。一方で半導体製造装置用の厚板を含む「その他」は二桁減少(▲22.0%)。世界的にPCやスマホなどの個人消費が低迷、世界経済の不透明感から企業の設備投資の動きも鈍化し、半導体市場は低迷した。

うち、押出類は、656千トン、前年度比▲3.5%。(2年連続でマイナス)

「建設」は住宅着工戸数の減少や素材転換などによりマイナス。「自動車」は板同様生産台数の回復により増加した。

箔は、96千トン、前年度▲8.5%。(2年連続でマイナス)

「食料品」は、物価上昇による買い控えの発生やレトルト食品用包材の素材転換などにより減少、「電気機器」向けはコンデンサ、LIBともに需要が低迷しマイナスとなった。

## ●2024年度見通し

板押合計で、1,726千トン、前年度比+1.5%。(プラスに反転)

うち、板類は、1,071千トン、前年度比+2.6%。(プラスに反転)

「缶材」は前年と同じ傾向が継続しほぼ横ばい。「自動車」は2024年度も引き続き堅調を見通す。半導体関連は、生成AIなどの先端テクノロジーに対応する企業投資の増加に伴い半導体製造装置向け厚板の出荷回復を見通す。

うち、押出類は、655千トン、前年度比▲0.2%。(3年連続でマイナス)

「自動車」は板同様、自動車生産の増加が見込まれることからプラスを見通す。「建設」は住宅着工戸数の減少や一戸あたりのアルミ使用量の減少が見込まれることからマイナス。(サッシ協会予測:▲1.3%)

箔は、98千トン、前年度比+2.3%。(プラスに反転)

「食料品」は一部には他素材への転換が若干見込まれるものの、訪日観光客の旺盛なインバウンド需要や買い控えも一服すると見込まれ若干のプラス。「電気機器」は車載用LIBが増加、民生用は、消費は弱含みだが前年並みを見通す。

以上

## ② 主要部門別補足説明

### 1. 板類

#### <食料品部門>

2023年度 (▲2.0%)	<p>○缶材一 ▲1.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動制限の撤廃による家飲み需要減少や、物価上昇の影響による消費抑制、酒税法改正などの影響によりアルコール類は減少した。</li> <li>・ ボトル缶は、脱プラによる水の採用は増加したものの、製品値上げの影響を受けてコーヒー用が減少し、ボトル缶のトータル需要は前年割れとなった。</li> <li>・ 缶については毎年、軽量化が図られており、1缶あたりの使用重量の変化も需要変動の一因である。</li> </ul>
2024年度 (+0.3%)	<p>○缶材一 +0.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルコール類は今後の物価動向次第だが、前年並みを見通す。</li> <li>・ 環境対応による軽量化や引き続き物価高騰による消費抑制なども見込まれるが、リサイクル性に優れるアルミ缶採用の進展を見込む。</li> </ul>

注1) : 左欄の ( %) は前年度比。以下同様

#### <金属製品部門>

2023年度 (▲4.4%)	<p>○箔地一 ▲3.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細は箔コメントをご参照ください。</li> </ul> <p>○その他の金属製品一▲6.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷版は2022年度が高水準だったためマイナスだった。</li> </ul>
2024年度 (+1.7%)	<p>○箔地一 +2.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細は箔コメントをご参照ください。</li> </ul> <p>○その他の金属製品一 +0.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷版はアナログ広告、印刷業界は縮小傾向だが国内材回帰もあり前年並みを見通す。</li> </ul>

#### <電気機械部門>

2023年度 (▲10.4%)	<p>○民生用一 +0.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年微増だが、エアコン等は物価の高騰による買い控えが発生し出荷は減少。</li> </ul> <p>○その他電気一 ▲25.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマホの買い替えサイクルの長期化や、コロナ特需の反動によりデジタル機器関連は大幅減少となった。</li> </ul>
2024年度 (+2.4%)	<p>○民生用一 +3.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エアコンは猛暑予想や、2009年～2011年にかけてあったグリーン家電普及促進事業（通称家電エコポイント）を利用して購入された家電の買い替え時期もあり、需要増を見込む。</li> </ul> <p>○その他電気一 +0.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル機器関連は、個人消費は物価動向による消費抑制の懸念があるものの、企業投資は生成AIなどの先進テクノロジー需要を期待。</li> </ul>

<輸送用機械部門>

2023年度 (+14.3%)	○自動車材— +15.5% ・ 半導体不足の緩和、部品不足の解消により自動車生産が回復、中でも自動車パネルは軽量化（燃費改善）の観点から採用車種が増加し大幅増となった。 ・ 熱交換器は海外材の流入が一部あり、小幅な伸びとなった。
2024年度 (+2.3%)	○自動車材—+2.4% ・ 自動車生産は受注残の消化もあり2023年度並みとなり、パネル材も引き続き堅調だが伸び率は落ち着くと予想。 ・ 熱交換器の海外材転換は円安やBCP観点から進展せず、他の自動車材の伸びと合わせプラスを見通す。

<その他>

2023年度 (▲22.0%)	・ 半導体関連は世界的なインフレ進行、政策金利の引き上げや政情不安などから需要が高まらず中間在庫の解消が進まなかった結果、大幅に減少した。
2024年度 (+16.2%)	・ 世界情勢や中国経済の減速などの懸念材料はあるものの、生成AIなどの革新的なテクノロジーへの投資や、自動車の電装化などの需要増により半導体関連は回復を見通す。

**2. 押出類**

<輸送用機械部門>

2023年度 (+12.0%)	○自動車材—+14.0% ・ 板同様、自動車生産台数の回復の伴いプラスとなった。うち二輪車はコロナ禍でのアウトドア需要からの反動で減少、トラックは一部メーカーの型式認定再取得からの挽回生産もあり大幅に増加した。 ・ 鉄道車両は大口物件がなかったことから前年比マイナスを見込む。
2024年度 (+1.8%)	○自動車材—+2.1% ・ 板同様、自動車生産台数が引き続き堅調に推移することや、環境対応のための軽量化により需要増を見通す。

<建設部門>

2023年度 (▲9.4%)	・ 資材価格の高騰による住宅建設コストの高止まりや景気の先行き不透明感により住宅着工戸数は減少を見込む。 ・ 住宅用サッシはアルミ製からアルミ樹脂複合性、樹脂製への移行が進み、一戸あたりのアルミ建材重量は減少傾向。
2024年度 (▲1.2%)	・ 前年と同じ傾向が継続し住宅着工は微減、ビルなどの非木造分野も建設資材の高騰や労働力不足による影響が継続し工期の遅れ、建設延期などが懸念されることから前年比マイナスを見通す。

### 3. 箔

#### <食料品部門>

2023 年度 (▲4.1%)	<ul style="list-style-type: none"><li>各種値上げによる買い控えが発生し実需が低下した。</li><li>一部のレトルト食品は湯せんから電子レンジ対応のプラスチック容器に置換。</li></ul>
2024 年度 (+1.1%)	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き物価の上昇は懸念されるが、買い控えは 2023 年度が底を打つと予想、訪日観光客の旺盛なインバウンド需要も期待。</li><li>一方でレトルト食品包材の素材転換もあり、2022 年度までは戻らず。</li></ul>

#### <化学部門>

2023 年度 (▲6.3%)	<ul style="list-style-type: none"><li>医薬品需要はあったものの、2022 年度の薬品不足から在庫を厚く持つ風潮が起き、在庫消化や、調整が発生した結果、前年比マイナスとなった。</li></ul>
2024 年度 (▲0.1%)	<ul style="list-style-type: none"><li>医薬品は通常の需要供給体制に戻り、出荷は 2021 年度並みを予想</li><li>消毒用アルコールなどのコロナ特需は消失するも、脱マスクの進展により、理美容品・化粧品需要が発生、ラミネート容器向けの箔が持ち直すことでほぼ前年並みを見通す。</li></ul>

#### <日用品>

2023 年度 (▲1.7%)	<ul style="list-style-type: none"><li>原料価格、燃料価格上昇の影響を受け商品市場価格が上昇、買い控えが発生した。</li><li>国内品の値上がりにより、安価な輸入製品が流入する一方で、品質や環境負荷低減を重視する消費者は国内品を選択するなどの動きもあり。</li><li>フライパンにくっつかないなどのシリコン加工ホイル需要は堅調に推移。</li></ul>
2024 年度 (▲3.7%)	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き商品価格の上昇による買い控えが懸念されるも、アルミホイルは価格重視で輸入品を選択する消費者と、品質、環境負荷低減重視で国内品を選択する消費者とで二極化が進展。</li><li>機能性シリコン加工ホイルは、2024 年度も引き続き堅調に推移を見通す。</li></ul>

#### <電気機器部門>

2023 年度 (▲11.7%)	<p>○コンデンサー ▲14.3%</p> <ul style="list-style-type: none"><li>中国の経済減速の影響を受けて在庫調整が発生、大幅マイナスとなった。特に民生用はモバイル向けなどで低迷が継続している。</li></ul> <p>○LIBー ▲7.8%</p> <ul style="list-style-type: none"><li>車載用は、一部回復が見られたものの車載以外の民生用において、スマホなどの個人消費が低迷、企業設備もコロナ特需による決済端末、ノートパソコンなどの電子機器需要が消失、電動工具なども人手不足による建設着工の遅延により需要が停滞した。</li></ul>
2024 年度 (+4.6%)	<p>○コンデンサー ▲0.6%</p> <ul style="list-style-type: none"><li>需要は回復に向かうも、サプライチェーン内で在庫が滞留していることから、解消には今しばらく時間がかかると予想。</li></ul> <p>○LIBー +8.6%</p> <ul style="list-style-type: none"><li>車載用は回復が進み、日系自動車メーカーの生産台数増加（ハイブリッド車中心）に伴い需要が増加、民生用は 2023 年度並みを見通す。</li></ul>

### ③ 主要部門別出荷数量

板類

2024/3/29

		2022	2023	2024	増減率	
		(実績)	(見込み)	(見通し)	23/22	24/23
食料品	缶材	389,998	383,570	384,650	▲ 1.6	0.3
	その他	13,646	12,179	12,300	▲ 10.8	1.0
	小計	<b>403,644</b>	<b>395,749</b>	<b>396,950</b>	<b>▲ 2.0</b>	<b>0.3</b>
化学		<b>909</b>	<b>799</b>	<b>800</b>	<b>▲ 12.1</b>	<b>0.1</b>
金属製品	はく用	108,764	104,724	107,100	▲ 3.7	2.3
	その他金属	42,724	40,155	40,200	▲ 6.0	0.1
	小計	<b>151,488</b>	<b>144,879</b>	<b>147,300</b>	<b>▲ 4.4</b>	<b>1.7</b>
電気機械	民生用	39,879	40,093	41,520	0.5	3.6
	その他電気	28,698	21,336	21,400	▲ 25.7	0.3
	小計	<b>68,577</b>	<b>61,429</b>	<b>62,920</b>	<b>▲ 10.4</b>	<b>2.4</b>
輸送用機械	自動車(乗用車)	108,159	135,634	139,400	25.4	2.8
	自動車(熱交換器)	59,133	58,701	59,700	▲ 0.7	1.7
	自動車(その他)	13,215	14,114	14,400	6.8	2.0
	自動車 計	180,507	208,449	213,500	15.5	2.4
	船・鉄道・航空 他	10,255	9,527	9,500	▲ 7.1	▲ 0.3
	小計	<b>190,762</b>	<b>217,976</b>	<b>223,000</b>	<b>14.3</b>	<b>2.3</b>
精密機械		<b>201</b>	<b>255</b>	<b>300</b>	<b>26.9</b>	<b>17.6</b>
一般機械		<b>23,770</b>	<b>17,012</b>	<b>17,400</b>	<b>▲ 28.4</b>	<b>2.3</b>
建設	サッシドア	4,330	3,654	3,600	▲ 15.6	▲ 1.5
	内外装 他	24,409	22,885	22,800	▲ 6.2	▲ 0.4
	小計	<b>28,739</b>	<b>26,539</b>	<b>26,400</b>	<b>▲ 7.7</b>	<b>▲ 0.5</b>
その他		<b>75,820</b>	<b>59,112</b>	<b>68,700</b>	<b>▲ 22.0</b>	<b>16.2</b>
国内出荷計		<b>943,910</b>	<b>923,750</b>	<b>943,770</b>	<b>▲ 2.1</b>	<b>2.2</b>
輸出		163,652	119,970	127,400	▲ 26.7	6.2
合計		<b>1,107,562</b>	<b>1,043,720</b>	<b>1,071,170</b>	<b>▲ 5.8</b>	<b>2.6</b>

## 押出類

2024/3/29

		2022	2023	2024	増減率	
		(実績)	(見込み)	(見通し)	23/22	24/23
食料品	缶材					
	その他	428	419	400	▲ 2.1	▲ 4.5
	小計	428	419	400	▲ 2.1	▲ 4.5
化学		383	231	200	▲ 39.7	▲ 13.4
金属製品	はく用					
	その他金属	15,991	18,473	18,300	15.5	▲ 0.9
	小計	15,991	18,473	18,300	15.5	▲ 0.9
電気機械	民生用	6,234	6,373	6,500	2.2	2.0
	その他電気	11,281	11,600	11,500	2.8	▲ 0.9
	小計	17,515	17,973	18,000	2.6	0.2
輸送用機械	自動車(乗用車)	61,045	70,716	72,050	15.8	1.9
	自動車(熱交換器)	27,498	28,809	30,000	4.8	4.1
	自動車(その他)	29,289	34,856	35,100	19.0	0.7
	自動車 計	117,832	134,381	137,150	14.0	2.1
	船・鉄道・航空 他	11,766	10,784	10,600	▲ 8.3	▲ 1.7
	小計	129,598	145,165	147,750	12.0	1.8
精密機械		8,511	7,881	7,850	▲ 7.4	▲ 0.4
一般機械		37,365	32,710	33,200	▲ 12.5	1.5
建設	サッシドア	271,409	214,340	210,380	▲ 21.0	▲ 1.8
	内外装 他	143,674	161,532	160,900	12.4	▲ 0.4
	小計	415,083	375,872	371,280	▲ 9.4	▲ 1.2
その他		45,371	47,761	48,200	5.3	0.9
国内出荷計		670,245	646,485	645,180	▲ 3.5	▲ 0.2
輸出		10,011	10,229	10,200	2.2	▲ 0.3
合計		680,256	656,714	655,380	▲ 3.5	▲ 0.2

圧延品計（板類＋押出類）

2024/3/29

		2022	2023	2024	増減率	
		(実績)	(見込み)	(見通し)	23/22	24/23
食料品	缶材	389,998	383,570	384,650	▲ 1.6	0.3
	その他	14,074	12,598	12,700	▲ 10.5	0.8
	小計	<b>404,072</b>	<b>396,168</b>	<b>397,350</b>	<b>▲ 2.0</b>	<b>0.3</b>
化学		<b>1,292</b>	<b>1,030</b>	<b>1,000</b>	<b>▲ 20.3</b>	<b>▲ 2.9</b>
金属製品	はく用	108,764	104,724	107,100	▲ 3.7	2.3
	その他金属	58,715	58,628	58,500	▲ 0.1	▲ 0.2
	小計	<b>167,479</b>	<b>163,352</b>	<b>165,600</b>	<b>▲ 2.5</b>	<b>1.4</b>
電気機械	民生用	46,113	46,466	48,020	0.8	3.3
	その他電気	39,979	32,936	32,900	▲ 17.6	▲ 0.1
	小計	<b>86,092</b>	<b>79,402</b>	<b>80,920</b>	<b>▲ 7.8</b>	<b>1.9</b>
輸送用機械	自動車(乗用車)	169,204	206,350	211,450	22.0	2.5
	自動車(熱交換器)	86,631	87,510	89,700	1.0	2.5
	自動車(その他)	42,504	48,970	49,500	15.2	1.1
	自動車 計	298,339	342,830	350,650	14.9	2.3
	船・鉄道・航空 他	22,021	20,311	20,100	▲ 7.8	▲ 1.0
	小計	<b>320,360</b>	<b>363,141</b>	<b>370,750</b>	<b>13.4</b>	<b>2.1</b>
精密機械		<b>8,712</b>	<b>8,136</b>	<b>8,150</b>	<b>▲ 6.6</b>	<b>0.2</b>
一般機械		<b>61,135</b>	<b>49,722</b>	<b>50,600</b>	<b>▲ 18.7</b>	<b>1.8</b>
建設	サッシドア	275,739	217,994	213,980	▲ 20.9	▲ 1.8
	内外装 他	168,083	184,417	183,700	9.7	▲ 0.4
	小計	<b>443,822</b>	<b>402,411</b>	<b>397,680</b>	<b>▲ 9.3</b>	<b>▲ 1.2</b>
その他		<b>121,191</b>	<b>106,873</b>	<b>116,900</b>	<b>▲ 11.8</b>	<b>9.4</b>
国内出荷計		<b>1,614,155</b>	<b>1,570,235</b>	<b>1,588,950</b>	<b>▲ 2.7</b>	<b>1.2</b>
輸出		<b>173,663</b>	<b>130,199</b>	<b>137,600</b>	<b>▲ 25.0</b>	<b>5.7</b>
合計		<b>1,787,818</b>	<b>1,700,434</b>	<b>1,726,550</b>	<b>▲ 4.9</b>	<b>1.5</b>

箔

2024/3/29

	2022	2023	2024	増減率		
	(実績)	(見込み)	(見通し)	23/22	24/23	
食料品	22,600	21,670	21,900	▲ 4.1	1.1	
たばこ	478	512	500	7.1	▲ 2.3	
化学	9,933	9,305	9,300	▲ 6.3	▲ 0.1	
日用品	家庭箔	1,060	1,030	950	▲ 2.8	▲ 7.8
	その他	1,475	1,463	1,450	▲ 0.8	▲ 0.9
	小計	2,535	2,493	2,400	▲ 1.7	▲ 3.7
その他金属	750	631	650	▲ 15.9	3.0	
電気機器	コンデンサ	23,203	19,875	19,750	▲ 14.3	▲ 0.6
	LIB	29,147	26,879	29,200	▲ 7.8	8.6
	その他電気	3,515	2,575	2,650	▲ 26.7	2.9
	小計	55,865	49,329	51,600	▲ 11.7	4.6
機械器具	520	470	500	▲ 9.6	6.4	
建設	1,779	1,512	1,580	▲ 15.0	4.5	
その他	86	166	170	93.0	2.4	
国内出荷計	94,546	86,088	88,600	▲ 8.9	2.9	
輸出	10,863	10,370	10,100	▲ 4.5	▲ 2.6	
合計	105,409	96,458	98,700	▲ 8.5	2.3	

策定数値については、アルミ圧延業の活動実績を全般的に把握・周知するために、会員企業から収集した情報を客観的に統計処理して概括的に公表しているものであり、会員企業の現在または将来の事業活動における重要な競争手段に具体的に関係する情報について、会員企業との間で収集・提供を行い、相互間での予測を可能にするようなものではありません